

【評価判定区分】
a:改善
a*:改善(改善しているが、現状のままでは最終評価までに目標達成が危ぶまれる)
b:変わらない c:悪化している d:評価困難

第2期データヘルス計画中間評価

事業名	目的及び概要	後期への取組み	ストラクチャー評価	プロセス評価	アウトプット	アウトカム	実績値				評価	今後の方向性	最終目標値	
					指標・目標値	指標・目標値	平成28年度 (ベースライン)	平成29年度	平成30年度	令和元年度			アウトプット	アウトカム
特定健康診査	生活習慣病の早期発見と、内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣の改善のきっかけとする健康診査を実施する。	継続	健診実施体制、健診周知方法、健診費用、がん検診との同時実施の体制を整備した。	個別通知、広報により周知を図った。 個別通知の効果を高めるための方法を検討した。	受診勧奨通知送付率 100% 受診勧奨回数 2回以上	特定健康診査受診率 55.0% 40～64歳受診率 50.0%以上 65～74歳受診率 67.0%以上 5年連続未受診者率 30.0%以下	受診勧奨通知送付率 100% 受診勧奨回数 1回 特定健康診査受診率 47.0%(法定報告) 40～64歳受診率 34.3% 65～74歳受診率 57.9% 5年連続未受診者率 37.8%	受診勧奨通知送付率 100% 受診勧奨回数 1回 特定健康診査受診率 46.3%(法定報告) 40～64歳受診率 33.3% 65～74歳受診率 56.5% 5年連続未受診者率 37.4%	受診勧奨通知送付率 100% 受診勧奨回数 1回 特定健康診査受診率 45.5%(法定報告) 40～64歳受診率 32.6% 65～74歳受診率 55.8% 5年連続未受診者率 37.1%	受診勧奨通知送付率 100% 受診勧奨回数 1回 特定健康診査受診率 38.2%(法定報告) 40～64歳受診率 27.0% 65～74歳受診率 46.9% 5年連続未受診者率 37.7%	c	予定どおり実施する。	受診勧奨通知送付率 100% 受診勧奨回数 2回以上	特定健康診査受診率 55.0% 40～64歳受診率 50.0% 65～74歳受診率 67.0% 5年連続未受診者率 30.0%以下
特定保健指導	健診結果説明及び特定保健指導を実施し、特定保健指導終了率の向上を目指す。	継続	医療機関において、結果説明時に勧奨するなどの協力体制を構築した。	実施方法や時間帯などで対象者に合わせた対応を行った。	利用勧奨通知送付率 100% 利用勧奨回数 1回以上	特定保健指導終了率 40.0% メタボ該当者数の割合 20.0%以下 メタボ予備群該当者の割合 9.0%以下	利用勧奨通知送付率 100% 利用勧奨回数 1回 特定保健指導終了率 16.2%(法定報告) メタボ該当者数の割合 23.6% メタボ予備群該当者の割合 11.7%	利用勧奨通知送付率 100% 利用勧奨回数 1回 特定保健指導終了率 15.7%(法定報告) メタボ該当者数の割合 23.0% メタボ予備群該当者の割合 12.5%	利用勧奨通知送付率 100% 利用勧奨回数 1回 特定保健指導終了率 22.5%(法定報告) メタボ該当者数の割合 23.2% メタボ予備群該当者の割合 12.1%	利用勧奨通知送付率 100% 利用勧奨回数 1回 特定保健指導終了率 27.8%(法定報告) メタボ該当者数の割合 25.7% メタボ予備群該当者の割合 12.1%	a*	予定どおり実施する。	利用勧奨通知送付率 100% 利用勧奨回数 1回以上	特定保健指導終了率 40.0% メタボ該当者数の割合 20.0%以下 メタボ予備群該当者の割合 9.0%以下
生活習慣病重症化予防対策事業	健診結果に基づき、受診勧奨判定値超かつ医療機関未受診者に対し、医療機関の受診を勧奨する。	廃止	医療機関との連携により、適正に勧奨対象者を把握できる体制を構築した。	KDB等を活用し、勧奨対象者を把握した。 勧奨後の受診状況をレポートデータ等で追跡調査した。	勧奨件数 50件 相談件数 80件	対前年比該当率 97.0%	勧奨件数 67件 相談件数 80件 対前年比該当率 97.0%	勧奨件数 35件 相談件数 60件 対前年比該当率 52.2%	/	/	d	平成30年度より、糖尿病性腎症重症化予防事業に移行した。	/	/
糖尿病性腎症重症化予防事業	健診結果に基づき、受診勧奨判定値超かつ医療機関未受診者に対し、医療機関の受診を勧奨する。	新規	医療機関との連携により、適正に勧奨対象者を把握できる体制を構築した。	KDB等を活用し、勧奨対象者を把握した。 勧奨後の受診状況をレポートデータ等で追跡調査した。	受診勧奨実施率 100%	勧奨実施2カ月後の受診率 40.0%	/	/	受診勧奨実施率 100% 勧奨実施2カ月後の受診率 37.5%	受診勧奨実施率 100% 勧奨実施2カ月後の受診率 45.5%	d	予定どおり継続するが、達成状況を見ながら糖尿病以外のリスクにも拡大することを検討する。	受診勧奨実施率 100%	勧奨実施2カ月後の受診率 40.0%
後発医薬品(ジェネリック医薬品)の普及啓発事業	生活習慣病に関する薬剤の費用を削減する。	継続	全被保険者にシールを配布するために封入業務委託を実施した。	被保険者証更新時、国保税決定通知時にシールを同封し全被保険者に配布した。	シールの配布数 6,000枚 差額通知回数 2回	後発医薬品割合(数量ベース) 80.0%	シールの配布数 6,000枚 差額通知回数 2回 後発医薬品割合(数量ベース) 62.5%(H29.3時点)	シールの配布数 5,500枚 差額通知回数 2回 後発医薬品割合(数量ベース) 62.7%	シールの配布数 5,500枚 差額通知回数 2回 後発医薬品割合(数量ベース) 66.6%	シールの配布数 5,500枚 差額通知回数 2回 後発医薬品割合(数量ベース) 69.2%	a*	事業内容は予定どおり実施するが、被保険者数の減少を踏まえ、シールの配布枚数を5,500枚とする。	シールの配布数 5,500枚 差額通知回数 2回	後発医薬品割合(数量ベース) 80.0%
医療費通知	適正受診を呼びかけ、医療費の適正化を図ること目的として、被保険者に医療費を通知する。	継続	国保連合会に委託し、迅速かつ効率的な通知を実施した。	受診後できるだけ早期に確認できるような通知回数を設定した。	通知回数 6回	効果測定が困難であり、評価指標等の検討が必要	通知回数 6回	通知回数 6回	通知回数 6回	通知回数 6回	d	アウトカム評価について、効果測定が困難であり、評価指標から外す。	通知回数 6回	—